

下請け脱却！自社製品（樹脂製容器製造装置）開発の知財活用と海外展開【株式会社川崎鉄工所】

- ・呉海軍工廠で培った溶接、機械設計及び組立に対する高い技術力を有し、世界初の機構を持つ新開発の熱成形機の製造販売と、高精度の溶接・機械加工・組立による取り纏め加工を行なっている。
- ・大手メーカーから優秀サプライヤーとして表彰された実績もある。



相談のきっかけ

呉信用金庫との連携により、新しい装置の開発について知財面の支援をお願いしたいとの依頼を受け、同社の支援を開始。

熱成形機、特に樹脂容器製造装置の開発において、開発の状況を確認しながら、知財支援を行うことになった。

支援概要

開発状況を伺いながら、開発の目途が立った段階で専門家（弁理士）と共に特許出願の内容検討を行い、その後特許出願を完了。独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）の支援を受けて海外展開も進めていたことから、PCT国際出願の支援も実施。ベトナムへの進出が決定しINPIT海外知財プロデューサーのアドバイスを受けて、ベトナムでの特許出願の国内移行、商標の出願を進めるとともに、ベトナム企業との契約書作成に向け、専門家（弁護士）を派遣した。



専門家
活用



他機関
連携

支援成果

日本及びベトナムでの特許出願を完了し、商標の外国出願手続きを進めている。外国への出願及び海外企業との契約については、窓口での支援を基に、呉市の補助金を活用している。既に国内では4台の販売実績があり、韓国の企業からも購入内定を受けるに至った。ベトナムでは販売業者と販売店契約の締結を進めている。



企業コメント

中小企業において特許、商標の登録、海外輸出契約などは、単独で出来ない案件です。当社では窓口の方々のご支援により各案件とも登録完了、契約書作成及び締結ができました。知財関係に悩まれている企業の皆様、是非とも知財総合支援窓口へご相談してみてください。



窓口担当者コメント（氏名：柳下加寿子）

大手企業のサプライヤーの立場から、自社製品製造業者への転身をうまく図っていらっしゃると思います。今後もさらなる事業の発展に対し、知財支援を通じて後押しさせていただきたいと思っています。

下請け脱却！自社製品（樹脂製容器製造装置）開発の知財活用と海外展開

【INPIT 広島県知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社川崎鉄工所

所在地	広島県呉市		
ホームページ URL	http://www.kawasaki-iw.co.jp/		
設立年	1946 年	業 種	製造業
従業員数	55 人	資本金	1300 万円

企業紹介

当社は呉海軍工廠で培った溶接、機械設計及び組立に対する高い技術力を有し、世界初の機構を持つ新開発の熱成形機の製造販売と、高精度の溶接・機械加工・組立による取り纏め加工を行なっています。大手メーカーから優秀サプライヤーとして表彰された実績もあります。また、平成 28 年に参入した熱成形機事業によって、今後さらなる驚きをお客様にお届けしようと思っています。

相談のきっかけ

呉信用金庫との連携により、新しい装置の開発について知財面の支援をお願いしたいとの依頼を受け、同社の支援を開始しました。熱成形機、特に樹脂容器製造装置の開発において、開発の状況を確認させていただきながら、知財支援をさせていただくこととなりました。

支援概要

開発の状況を教えていただき、開発の目的が立った段階で専門家（弁理士）と共に特許出願の内容検討を行い、その後特許出願を完了しました。独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）の支援を受けて海外展開も進めていたことから、PCT 国際出願の支援も実施しました。ベトナムへの進出が決定し INPIT 海外知財プロデューサーのアドバイスを受けて、ベトナムでの特許出願の国内移行、商標の出願を進めるとともに、ベトナム企業との契約書作成に向け、専門家（弁護士）を派遣しました。

支援成果

以上の支援により、日本及びベトナムでの特許出願を完了し、商標の外国出願の手続きを進めています。外国への出願及び海外企業との契約については、窓口での支援を基に、呉市の補助金を活用して進めています。こちらは既に国内では4台の販売実績があり、韓国の企業からも購入内定を受けるに至りました。ベトナムでは販売業者と販売店契約の締結を進めています。



企業コメント

中小企業において特許、商標の登録、海外輸出契約などは、単独で出来ない案件です。当社では窓口の方々のご支援により各案件とも登録完了、契約書作成及び締結ができました。知財関係に悩まれている企業の皆様、是非とも知財総合支援窓口へご相談してみてください。

窓口担当者コメント（柳下加寿子）



大手企業のサプライヤーの立場から、自社製品製造業者への転身をうまく図っていらっしゃると思います。今後もさらなる事業の発展に対し、知財支援を通じて後押しさせていただきたいと思っています。